

全国大学コンソーシアム協議会**【設立趣旨】**

近年、全国各地で大学連携、地域社会、産業界との連携による大学連携、大学コンソーシアムの取り組みが進められています。大学を超えた連携型教育・研究は、今やひとつの形態として大学教育の一角を担うようになりました。

また、その地に根ざす大学はもちろんのこと、地域の歴史、立地、特性を背景として設立された地域組織としての大学コンソーシアムは、いうなれば高等教育機関と地域社会とが深く結びつき、大学の発展と地域の活性化を実現する取り組みでもあります。

現在、高等教育は世界的な水準で質の保証が問われ、教育・研究は社会の評価が問われる時代でもあります。言い換えれば、社会の多様な教育ニーズに応え、特色ある教育・研究を創造することが求められています。

このような時代において、世界的にも高等教育を構成する重要なシステムである大学コンソーシアムは、連携でこそ実現可能な新しい学びと、知の社会還元を実現する可能性を有しています。

この様な流れの中で、発展段階にあるわが国の連携型の教育・研究の発展を目指し、各地で培ってきた「地域力」を「組織力」に換えることにより、相互に内容を共有できる新たな研究交流の場を提供していきたいという考えのもとつき、「全国大学コンソーシアム協議会」を設置しました。

**開催日:2012年
9月1日(土)・2日(日)**

主催:全国大学コンソーシアム協議会

共催:公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム

**会場:グリーンホール相模大野
相模女子大学**

第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

メインテーマ: 「活力あふれる魅力的な地域社会の創造」

-10年後の日本を担うきみたちへ-

東日本大震災(2011)から1年6カ月。東北・関東におよぶ広範な被災地域が、希望と活力のある未来志向の地域社会としてよみがえることは、地域の方々はいうまでもなく、国民全体の強い願いであります。地域の再建復興には、公(パブリック)の目的の下に考え行動する学生・市民のかかわりがこれまで以上に必要です。

本フォーラムは、テーマ「活力あふれる魅力的な地域社会の創造」に沿ったプログラムを展開します。基調講演では、大学関係者をはじめ中高生・大学生・市民などさまざまな年齢層の皆様へ、「はやぶさ」の地球帰還を主導された宇宙航空研究開発機構 川口淳一郎教授の講演を通して「希望」と「勇気」を確信していただきます。シンポジウムでは、被災地復興の取組などを通して、「魅力的な地域社会の創造」と「生活の質(QOL)の向上」を目指す行動型市民のあり方を考えます。分科会では、地域社会の創造に大学コンソーシアムのはたす役割を討論します。また、大学コンソーシアムの特色ある活動事例を共有しその成果を発信します。

【基調講演】『「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その7年間の歩み』

はやぶさが実証した地球引力圏外の天体へ着陸し、往復して帰還した宇宙飛行は、人類未達の挑戦でした。「はやぶさ」は、2010年6月13日、その宇宙飛行を終え、オーストラリアのウーメラ砂漠地帯に帰還し、試料回収カプセルを無事降下・回収することに成功しました。

はやぶさは、その飛行中、数々の故障や困難に直面しましたが、プロジェクトのメンバー全員がよくそのミッション目的を共有し、そして高いモチベーションをもって率先して取り組み、このことが地球帰還の成功へとつながりました。

この講演では、打ち上げから帰還までの7年間の飛行運用をふりかえり、いろいろな局面で得られた苦心や教訓を紹介し、成果を次世代へつなげる方法、新たな構想を立ち上げるのに必要なとりくみ方などについて述べたいと思います。



かわぐち じゅんいちろう

川口 淳一郎 氏

独立行政法人

宇宙航空研究開発機構教授

プログラム

日付	時間	内容	講演者等		
9/1 (土) 1日目	11:00~13:00	受付	グリーンホール相模大野 大ホール		
	11:00~17:00	ポスターセッション	グリーンホール相模大野 多目的室		
	13:00~13:05	主催者挨拶	全国大学コンソーシアム協議会代表幹事 赤松 徹眞 (龍谷大学長)		
	13:05~13:10	開催地挨拶	公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム 代表理事 谷崎 昭男 (相模女子大学長)		
	13:10~13:15	来賓挨拶	相模原市長 加山 俊夫 氏		
	13:15~13:20		町田市長 石阪 丈一 氏		
	13:20~14:10	基調講演 (50分) ■一般参加	宇宙航空研究開発機構教授 川口 淳一郎 氏		
	14:10~15:50	シンポジウム (100分) ■一般参加	シンポジスト: 加山 俊夫 氏 相模原市長		
			シンポジスト: 石阪 丈一 氏 町田市長		
			シンポジスト: 戸田 公明 氏 大船渡市長		
			シンポジスト: 川口 淳一郎 氏 宇宙航空研究開発機構教授		
			シンポジスト: 眞鍋 知子 氏 金沢大学准教授		
	コーディネーター: 松下 啓一 氏 相模女子大学特任教授				
	15:50~16:00	休憩 (10分)			
16:00~16:20	高等教育報告	文部科学省 高等教育局 大学振興課長 池田 貴城 氏			
16:20~16:35	総会	全国大学コンソーシアム協議会代表幹事 市川 太一 (広島修道大学長)			
16:35~17:00	ポスターセッション (コアタイム)				
17:00~17:30	会場移動 (30分)				
17:30~19:30	分科会 (120分) Aセッション	第1分科会 学生・市民が担うまちづくり (さがまちコンソーシアム)	第2分科会 大学のキャリア形成 支援について (学術・文化・産業 ネットワーク多摩)	第3分科会 地域社会における学生による 災害ボランティア (大学コンソーシアム石川)	
		相模女子大学マーガレット本館 2131, 2132, 2141 講義室			
19:30~19:40	会場移動 (10分)				
19:40~21:00	情報交換会 (80分)	挨拶: 相模原・町田大学地域コンソーシアム 代表理事 谷崎 昭男 氏 相模女子大学マーガレットホール2階 カフェテリア 101			
9/2 (日) 2日目	10:00~12:00	分科会 (120分) Bセッション	第4分科会 大学コンソーシアムの マネジメント (教育ネットワーク中国)	第5分科会 地域を掘り下げる コンソーシアム (大学コンソーシアム大阪)	第6分科会 一歩進んだ単位互換 ~戦略的・大学連携支援採択事例を 中心として~ (大学コンソーシアム京都)
			相模女子大学マーガレット本館 2131, 2132, 2141 講義室		
	12:30~13:30	運営委員会	相模女子大学マーガレット本館 会議室1		

申込方法

STEP1 ■お申込み(先着順)■

下記URL(アドレス)、もしくは公益財団法人大学コンソーシアム京都ホームページ[トップページにバナー(専用ボタン)を準備します]からアクセスできる「参加申込フォーム」に必要な事項を入力し申込み手続きを行って下さい。申込み手続き完了後に「申込み完了メール」をお送りいたします。(翌日になっても申込み完了メールが届かない場合は大学コンソーシアム京都(担当:澤岡)までお問い合わせ下さい。)

※申込み手続き完了後の変更は一切受け付けられませんのでご注意ください。

※シンポジスト、分科会コーディネーター、分科会報告者の方は申込み不要です。

STEP2 ■参加費のお支払い■

申込み手続きが完了した方には、後日、郵送にて払込票(請求書)をお送りいたしますので最寄のコンビニエンスストアで参加費の支払いを行って下さい。取り扱い可能なコンビニエンスストアは同封している払込票の裏面をご覧ください。

なお、銀行・ゆうちょ銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。

また、お申込み手続きと参加費のお支払いが完了していない方は参加できませんのでご注意ください。

【参加費支払締切:2012年8月17日(金)24:00まで】

お支払いいただく参加費につきましては、印刷費、webシステム運営費、通信費など、諸準備に使用いたしますので、いかなる理由があっても返金等には応じられません。ご了承下さい。報告集の代金をお支払いいただいている場合は、欠席された方にも後日送付いたします。

STEP3 ■参加証が届く■

参加費の支払いが完了した方には参加証をメールにて送信します。

8月25日(土)になっても参加証(メール)が届かない場合は、大学コンソーシアム京都(担当:澤岡)までお問い合わせ下さい。

STEP4 ■当日■

当日はプリントアウトした参加証(メール)を持参し、受付にて提示して下さい。

※代理の方が参加される場合は当日の受付にてお申し出下さい。

URL(アドレス)

<http://event.consortium.or.jp/zenkoku9/>

もしくは

大学コンソーシアム京都



全国大学コンソーシアム協議会 加盟組織について

各所属の機関が、全国大学コンソーシアム協議会の加盟組織かどうかについては、以下のページをご参照ください。

http://www.consortium.or.jp/category_list.php?frmCd=27-0-0-0-0

申込期間

2012年7月1日(日)～8月10日(金)

【参加費支払締切:2012年8月17日(金)24:00まで】

※当日申込みは、一切受け付けできませんので、ご注意ください。

参加費

申し込み区分	参加費	情報交換会費	報告書	合計
A:参加のみ	3,000円	×	×	3,000円
B:参加+情報交換会	3,000円	3,000円	×	6,000円
C:参加+報告書	3,000円	×	1,000円	4,000円
D:参加+情報交換会+報告書	3,000円	3,000円	1,000円	7,000円

全国大学コンソーシアム協議会

事務局:

〒600-8216

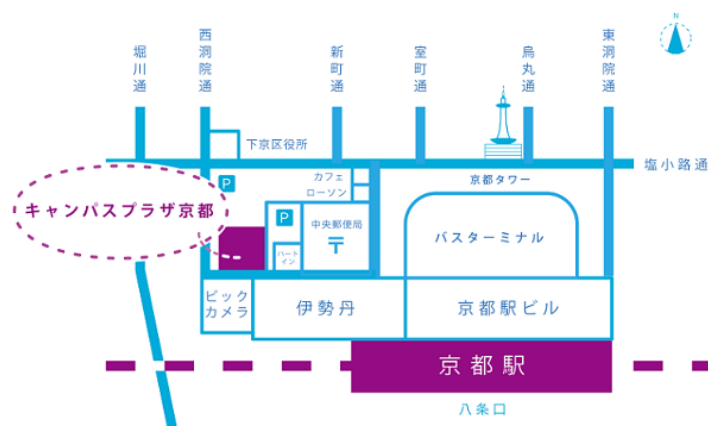
京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都

大学コンソーシアム京都 担当:澤岡・小南・向山

電話:075-353-9100

FAX:075-353-9101

Email: alljapan-consortium@consortium.or.jp



分科会詳細(9月1日(土) 1日目) 17:30~19:30

ポスターセッション(11:00~17:10)

北は北海道から南は九州まで全国各地の地域で、コンソーシアムの活動が盛んになり、それぞれが特色を持って産・官・学・地域と連携しながら取り組みがなされています。

このポスターセッションでは、各コンソーシアムが発行、作成した資料の展示はもとより、各コンソーシアムが取り組んでいる単位互換、インターンシップ、生涯学習、地域学、高大連携推進、シンクタンク機能などの様々な活動状況を紹介し、実践的な経験や取り組みなどのノウハウを共有し、参加者間の情報の交換の場として、提供いたします。

また、今回も企業ブースを設け、企業のアイデアを皆様の取り組みに活用できないか様々な情報を交換する場も提供いたします。

是非、ご関心のあるブースにお立ち寄り頂き、積極的な情報交換の場としてご活用ください。

第1分科会(相模原・町田大学地域コンソーシアム)

【テーマ】学生・市民が担うまちづくり

学生の地域への関わりがまちを生き活きとさせています。映像制作や情報誌制作、学生祭典のつどいを通して地域の人々と出会い、目的を共有し、つながりを深めています。地域のよさを発見し、青年の言葉や感性で表現し、それが市民の共感を呼んでいます。地域との関わりは協調性や通意性、自立性、社会性を高める好機となり、学生の成長にプラス効果をもたらしています。この分科会では、南大阪、京都、相模原・町田の特色ある取組について学生自身の発表をもとに、学生・市民の協働によるまちづくりについて考えます。

【第1分科会プログラム】

17:30~17:35	趣旨説明
17:35~17:55	「ショートフィルムフェスティバルによるまちづくり」 報告者:難波 美都里 氏 (特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム 統括コーディネーター) 学生1名(南大阪地域大学コンソーシアム)
17:55~18:15	「京都学生祭典の取組」 報告者:大西 博樹 氏 (大学コンソーシアム京都 学生交流事業部 次長) 田中 克哉 氏 (大学コンソーシアム京都 学生交流事業部 主査)
18:15~18:35	「情報誌さがまちによる地域情報発信」 報告者:山根 可奈 氏 (さがまちコンソーシアム、相模女子大学) 北澤 紗彩 氏 (さがまちコンソーシアム、青山学院大学2年)
18:35~18:45	休憩(質問用紙回収)
18:45~19:30	討論・まとめ
コーディネーター	古矢 鉄矢 氏 (公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム 理事、 北里大学学長補佐)

第2分科会(学術・文化・産業ネットワーク多摩)

【テーマ】大学のキャリア形成支援について

長引く不況観や産業構造、社会システムの劇的変化に伴い、大学も進学率の激増と相俟って、変革を余儀なくされている。35大学加盟のネットワーク多摩は、共通の課題、情報交換、大学間連携を推進する中で、「学生時代しかできない小中学校でのボランティア(学生教育ボランティア)」にも力点を置いている。キャリア形成支援、就職支援など含めた事業意図・概要と今年度導入の利便性の高いWeb新マッチングシステムを開発企業と紹介する。

【第2分科会プログラム】

17:30~17:35	趣旨説明
17:35~18:20	「大学のキャリア形成支援と学生教育ボランティア」 報告者:中村 裕 氏 (公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩 チーフディレクター)
18:20~19:00	「Webマッチングシステムの紹介」 報告者:関 正彦 氏 (株式会社コプロシステム 技術本部) 渡辺 幸弥 氏 (株式会社コプロシステム)
19:00~19:30	意見交換及びコーディネーターによるまとめ
コーディネーター	中村 裕 氏 (公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩 チーフディレクター)

第3分科会(大学コンソーシアム石川)

【テーマ】地域社会における学生による災害ボランティア

昨年、未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、全国各地から学生を含む多くのボランティアが集まり、現在も復旧・復興に向けて、その取り組みを支えています。被災地域の活力あるよみがえりは、被災地域だけではなく国民全体の願いであり、今後の地域社会を担う学生への期待は大きい。この分科会では、今回の東日本大震災での学生による災害ボランティア活動事例を手がかりに、地域社会における学生への期待とその課題や支援の在り方について考えたい。

【第3分科会プログラム】

17:30~17:35	趣旨説明
17:35~18:00	「学部仙台コンソーシアム 復興大学「災害ボランティアステーション」の取り組み -東北学院大学災害ボランティアステーションでの体験から私たちが学んだこと、考えたこと」 報告者:阿部 重樹 氏 (東北学院大学 経済学部 教授)
18:00~18:25	「被災地域における地元の学生活動とその支援」 報告者:山崎 省一 氏 (石巻専修大学 理工学部 教授) 学生1名(石巻専修大学)の活動事例報告
18:25~19:00	「被災地への支援活動とその課題」 報告者:武山 雅志 氏 (石川県立看護大学 人間科学領域 教授) 田中 純一 氏 (北陸学院大学 人間総合学部 准教授) 学生(金沢大学、石川県立看護大学、金沢星稜大学の3名)の活動事例報告
19:00~19:30	意見交換及びコーディネーターによるまとめ
コーディネーター	池田 幸應 氏 (大学コンソーシアム石川 地域連携専門部会長・ 金沢星稜大学 人間科学部 教授)

分科会詳細(9月2日(日) 2日目) 10:00～12:00

第4分科会(教育ネットワーク中国)

【テーマ】大学コンソーシアムのマネジメント

コンソーシアムを運営するお金もなく、ヒトもない。その上、国公私立大学、短大、高専など設置形態、大学の規模や所在地、大学とは異なった組織(企業や行政)など、連携協力を難しくする要因は数限りなくあります。戦略的大学連携支援事業終了後、コンソーシアムの運営にますます困難さを感じておられるみなさんも多くおられるはずです。

この分科会では1998年と2006年に創立した2つの組織の事例を報告していただきながら、事業、組織運営、大学以外の組織との連携などについて報告していただきます。その後、フロアにおられる参加者のご意見や質問などをお聞きしながら、みなさんと一緒にコンソーシアムの抱える問題について考えていきます。

【第4分科会プログラム】

10:00～10:05	趣旨説明
10:05～10:30	「教育ネットワーク中国の過去、現在、未来」 報告者:川野 祐二氏 (教育ネットワーク中国理事・ 教学委員会委員長、エリザベト音楽大学学 長)
10:30～10:55	「大学コンソーシアムの運営にかかる組織、ヒト、カネの問題」 報告者:上野 真也氏 (高等教育コンソーシアム熊本 企画運営委員会委員長、熊本大学 学長特別補佐)
10:55～12:00	意見交換及びコーディネーターによるまとめ
コーディネーター	市川 太一氏 (教育ネットワーク中国代表理事、広島修道大学学長)

第5分科会(大学コンソーシアム大阪)

【テーマ】地域を掘り下げるコンソーシアム

大学の社会貢献が言われている中、地域課題の解決に向けて取り組んでいる大学が多数存在する。

本分科会では、大学コンソーシアム加盟大学が連携して地域の特性を把握し、地域が抱えている諸課題に対して、教員の目、学生の目で詳しく掘り下げ、その課題解決の方策を地域に提言するとともに、その内容を地域住民に反映させて今後のまちづくりに寄与することを目的とする。

【第5分科会プログラム】

10:00～10:05	趣旨説明
10:05～10:30	「学生の力を生かした地域課題解決の取組」 報告者:深瀬 澄氏 (大学コンソーシアム大阪、 大阪経済法科大学 経済学部 教授)
10:30～10:55	「学生目線で掘り起こす地域の魅力」 報告者:古本 泰之氏 (大学コンソーシアム八王子、 杏林大学 外国語学部 准教授)
10:55～11:20	「地域の特性を活かした、大学連携「おおさか食と運動・健康フェスタ」」 報告者:中村 富予氏 (大学コンソーシアム大阪、 相愛大学 人間発達学部 准教授)
11:20～11:30	休憩
11:30～12:00	質疑応答・まとめ
コーディネーター	中川 邦彦氏 (大学コンソーシアム大阪、 地域連携担当コーディネーター)

第6分科会(大学コンソーシアム京都)

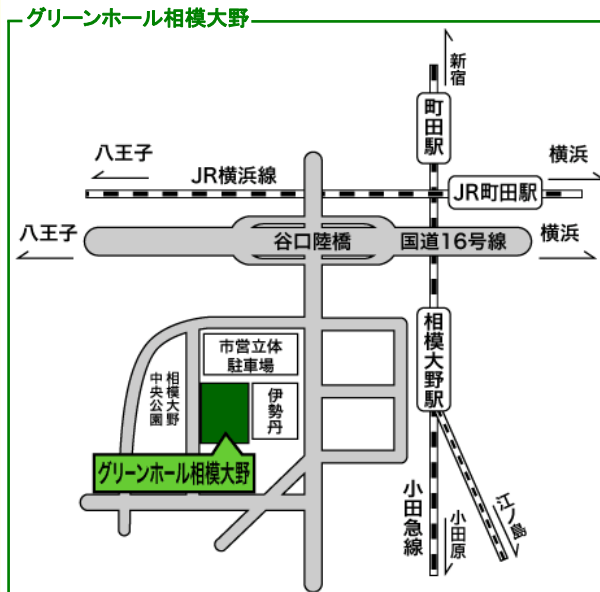
【テーマ】一歩進んだ単位互換
～戦略的大学連携支援採択事例を中心として～

単位互換事業は、2010年度調査では全国コンソーシアム加盟48組織中、42組織(87.5%)で事業として実施されるなど、多くの大学コンソーシアムの基幹事業として位置づけられ、年々事業として取り組む組織が増加している。本分科会では、文部科学省の戦略的大学連携支援事業として実施された2つの事例とともに、教養教育の共同実施に向けて取り組みを進めている先進事例についても紹介し、今後の単位互換制度の可能性や、共同で科目を開講すること等の可能性を探る。

【第6分科会プログラム】

10:00～10:05	趣旨説明
10:05～10:35	「広域単位互換制度の課題と可能性～大学連携の連携で国内留学」 報告者:田中 邦明氏 (北海道教育大学函館校 教育学部 教授、 キャンパス・コンソーシアム函館運営会議座長)
10:35～11:05	「単位互換制度を利用した国際留学(国際連携プログラム)」 報告者:榎本 善規氏 (大学コンソーシアム京都 副事務局長)
11:05～11:35	「国公三大学による教養教育の共同化」 報告者:築山 崇氏 (京都府立大学 副学長・教務部長)
11:35～12:00	意見交換及びコーディネーターによるまとめ
コーディネーター	田中 浩司氏 (函館大学 商学部 教授、 キャンパス・コンソーシアム函館運営会議副座長)

会場アクセスマップ



グリーンホール相模大野

〒252-0303

神奈川県相模原市南区相模大野4-4-1

TEL: 042-749-2200

小田急線相模大野駅より徒歩4分

さがまちコンソーシアム(相模女子大学内)

〒252-0307

神奈川県相模原市南区文京2-1-1

TEL: 042-703-8535

小田急線相模大野駅より徒歩10分

会場アクセス方法

- ・東京より**55分**(東京-新宿: 中央線)
- ・新宿より**32分**(小田急線)
- ・横浜より**35分**(相鉄線「大和」駅で小田急線乗換え/JR横浜線「町田」駅で小田急線に乗換え)
- ・新横浜より**30分**(JR横浜線「町田」駅で小田急線に乗換え)
- ・羽田空港より相模大野までの直通バス**90分**



全国大学コンソーシアム協議会<幹事会組織>

●キャンパス・コンソーシアム函館	●大学コンソーシアム京都
●学術・文化・産業ネットワーク多摩	●大学コンソーシアム大阪
●大学コンソーシアム石川	●教育ネットワーク中国
●愛知学長懇話会	●高等教育コンソーシアム熊本